

インドネシアの独立記念日とイベントの紹介

2013年、インドネシアは独立68周年を迎えました。インドネシアが独立宣言を発表した1945年8月17日を記念して、8月17日は独立記念日に定められています。この日はインドネシア国民にとって最大の祝日となり、毎年各地で様々な催しが開かれています。



独立記念塔

インドネシア共和国独立までの歴史

インドネシアは1595年から約350年間におよぶオランダの支配と、第二次世界大戦中の3年半の日本による支配を経験します。日本は1945年9月にインドネシアを独立させることを約束していましたが、

8月14日にポツダム宣言を受諾し、連合国に降伏したことから、独立運動をおこなっていたスカルノとハッタ（後の初代大統領と副大統領）は急遽、3日後の8月17日に独立宣言を発表します。

しかし、独立宣言発表後も事実上独立はできず、オランダに再植民地化されます。ポツダム宣言受諾後の日本軍は、連合国軍が来るまでのインドネシアの治安維持と武器管理を命じられ、インドネシアに武器を引き渡すことを禁じられますが、日本軍は秘密裏に祖国独立義勇軍(PETA)へ武器を横流しし、自らが育てたインドネシア義勇軍を支援します。もちろん、この「武器の横流し」は、どこでも円滑に行われたわけではなく、武器庫の番をしていたある日本兵は、暴徒化したインドネシア人に対して一発の銃弾も撃たずに殺されました。彼は自らの血で「インドネシアの独立に栄光あれ」と壁に書いて息絶えたと言われています。

また、インドネシアに残った2千人余りの元日本軍兵士もインドネシア人と共に、4年にも及ぶ独立戦争でオランダ軍と戦いました。この独立戦争で、80万人とも言われるインドネシア人の犠牲者を出しただけでなく、千人余りの元日本軍兵士も犠牲になったと言われています。オランダとの独立戦争で戦死した日本人の慰霊は、ジャカルタにある国立英雄墓地に眠っています。インドネシア独立のために多くの日本人がインドネシア人と共に戦い、血を流した事実を忘れるべきではないでしょう。

インドネシア独立宣言文に「05年8月17日」の日付が記載されていますが、この05年は日本の皇紀2605年の下二桁を示しています。植民地時代、宗主国であったオランダが使用する西暦を使わず、日本の皇紀をわざわざ使ったのは、インドネシア独立を支援してくれた日本への感謝の表れとも言えるでしょう。日本軍占領下で採用されていた皇紀や日本時間（インドネシアと日本の時差は2時間）の使用は、日本が敗戦しインドネシアが独立宣言をした後も、連合国軍がインドネシアへ上陸する8月末まで継続されていたようです。

《インドネシア独立宣言》

Proklamasi	独立宣言
Kami bangsa Indonesia dengan ini menjatakan kemerdekaan Indonesia. Hal-hal jang mengenai pemindahan kekoeasaan d.l.l., diselenggarakan dengan tjara seksama dan dalam tempo jang sesingkat-singkatnja.	我らインドネシア人民はここにインドネシアの独立を宣言する。
Djakarta, hari 17 boelan 8 taioen 05	ジャカルタ、05年8月17日
Atas nama bangsa Indonesia.	インドネシア人民の名において
Soekarno/Hatta	スカルノ/ハッタ

前述の通り、インドネシアは1945年に独立宣言を発表しましたが、1945年から1949年にかけてオランダとの間で独立戦争が発生した後、1949年12月27日のバグ協定で、インドネシアの独立が認められました。

独立記念日に関するイベント

独立記念日には、国旗を掲げ、町をカラフルに飾り、国民は盛大に独立記念日を祝福します。インドネシアの国旗は日本と同じ紅白の二色で、赤は勇気を白は聖なるものを意味します。各地での英霊追悼式だけでなく、様々なイベントも催され、大勢の国民が参加します。インドネシア国民の精神に「GOTONG ROYONG」（ゴトン ロヨン）という相互扶助の考えがあるからこそ、独立記念日を祝うためのイベントも実施することができます。どんな催しがあるか紹介します。



道端の旗売り（お値段は Rp3 万から）

◆Panjat pinang（パンジャツ ピナン）

油を塗ったピンロウヤシの先端にお菓子、服、電化製品などの景品をつけ、大勢の人が競い合って景品を奪う競技です。登ろうとすると滑るため観客も盛り上がります。地方に行くと、鳥かごに入れられた鶏も景品としてぶら下がっています。このイベントは、オランダ植民地時代から、家族のお祝い事や結婚式があるときに行われています。



えび煎餅食い競争

◆Balap bakiak（バラブ バキアク）

日本の「むかで競争」のようなもの。インドネシアではむかで競走用の下駄を3人で履いて競争します。西スマトラ地域の子供達は、昔、この長い下駄を履いてよく遊んでいましたが、現在、このような遊びをしているのは見られなくなりました。



田鰻つかみ大会

◆Lomba makan kerupuk（ロンバ マカン クルプク）

えび煎餅食い競争。紐に吊るされたえび煎餅を早く手を使わず食べます。日本の「パン食い競争」のパンがえび煎餅になったようなものです。早く食べ終えた人が勝者です。

◆Lomba memecahkan balon（ロンバ ムムチャーカン バロン）

風船割り。風船は、勢いよくお尻で割ったり、目隠しをしてぶら下がる風船を棒で割ったり、ペアを組んで顔と顔の間に風船を押し当てて割ったりします。いずれも割るのが難しいため、盛り上がります。

◆Balap kelereng（バラブ クレレン）

口にくわえたスプーンの上にビー玉を乗せて走るレース。ビー玉を落さずゴールできた人が勝者です。

◆Lomba balap karung（ロンバ バラプ カルン）

麻袋に体を入れて飛び跳ねながら競うレース。色々な催し物の中でも人気のレースです。2014年の総選挙に向けて、大統領の候補の面を被って参加する人もいるため、毎年注目されています。

◆Tangkap belut（タンカプ ベルツ）

田鰻つかみ大会。この大会は子供の連帯感やスポーツマンシップを育む目的もあります。プールに田鰻を放し、チームに分かれて競います。捕まえた田鰻の数が多きチームが勝者となります。

地方によってイベント内容も異なりますが、グルメフェスティバル・獅子舞・のど自慢大会・民族衣装を着用する子供達のパレードなど盛り沢山です。映画館やテレビでは、独立に関連した映画も上映・放映されます。

最後に、日本とインドネシアの友好関係を象徴する作品をご紹介します。機会があれば是非ご覧ください。

●日伊合作テレビドラマ「愛してる」

日伊国交樹立 55 周年を記念し、2013 年 10 月、インドネシア・日本友好協会 (PPIJ) は、日伊初の合作テレビドラマの制作を発表しました。インドネシアの DNA プロダクションと日本のフジテレビが共同で企画・撮影し、両国の人気俳優が出演しました。1945 年の終戦後、インドネシアに残留した祖父の足跡をたどりながら新世代同士が交流を深める友好ドラマです。このドラマは歴史を振り返りながらも新しい時代に向け、日伊の友好関係をさらに強化するために企画されました。年末から年始にかけて日伊両国で放映される予定です。

●映画「スカルノ：インドネシア独立 (“Soekarno: Indonesia Merdeka”)

2013 年 12 月にインドネシアの映画館で上映される予定です。メディアによると、映画の内容と事実が異なるとして、スカルノ元大統領の娘は上映を認めないとしており、上映されるかも含めて注目を集めています。

以上

<これまでの岡山県インドネシアビジネスサポートデスクレポートは[こちら](#)から>

★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク (PT. JC内) 概要★

所在地：WISMA NUSANTARA BUILDING 24th Floor

Jl. M. H Thamrin Kav 59 Jakarta Pusat Indonesia 10350

デスク担当者：PT.JC 武井 和宏 (たけい かずひろ)

対象エリア：インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています (岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託)。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」[利用の手引き](#)をご覧ください。のうえ、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#) (電話 086-226-7365) までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応しておりません。